



X

カルチャー

土木生活

人のために豊かさや便利さを提供する
土木を、生活のなかに浸透させていくこと。

「DOBOKU×カルチャー」
では、私たちと土木の距離を縮めてくれる、
そんなコンテンツを紹介します。

第七回

『土木偉人かるた』



この三月に土木学会が発売した「土木偉人かるた」が各方面で話題を呼び、売れ行きも好調だという。

日本国内、そして西洋の「土木偉人」四十八人が「かるた」となり、楽しく遊んでいると、その人物と功績を知らず知らずのうちに学ぶことができる土木史の入門資料となっている。

絵札となっているのは土木偉人の肖像とその代表的な功績。そして読み札では、その人物の業績を簡潔に紹介している。

登場しているのは、日本発の実測地図を作った伊能忠敬、鉄道の父と言われる井上勝、関東大震災の復興で新たな東京の都市計画を行った後藤新平、大成建設の創業者でもある実業家・大倉喜八郎、近代日本の土木行政の祖であり初代土木学会会長でもあった古市公威といった面々。平安時代の僧・空海や、徳川家康、武田信玄、加藤清正といった歴史的人物も加わり、彼らの土木偉人としての一面を知ることできる。

また、今年は「明治一五〇年」にあたる年。明治時代に日本の近代化に貢献した人物が二十四人含まれ、そのなかにはお雇い外国人である海外の技術者六人もいる。

時系列的には、奈良時代に溜池や橋などのインフラを造った行基から、昭和の河川技術者・安藝駿一まで歴史的にも幅広い人物が取り上げられている。かるたを製作したのは土木広報センター・土木リテラシー促進グループの緒方英樹氏と鈴木三馨氏。

「日本国内をはじめ古今東西の土木

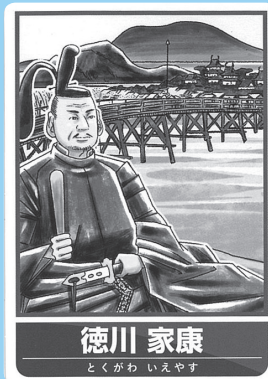


今回お話を伺った、公益社団法人 土木学会
土木広報センター センター長補佐のお二人。
左から、佐藤雅泰氏・前田利光氏

偉人を挙げてみたところ、どんどん増えていって、そこから四十八人を選びきるのが大変な作業だったそうです。絵札に関しては、人物の絵と構造物の絵の両方が上手な人に描いてもらわなくてはと、東京ビッグサイトで開催されているクリエイターEXPOに出かけて行ってイラストレーターを探したり。それぞれのプロセスにも苦労があったようです。土木広報センターの前田利光氏は製作裏話を語る。

同じく土木広報センターの佐藤雅泰氏は「土木に関しての本を読んだりというのとは一人での体験、作業になりますが、かるたはみんなまで遊ぶもの。親子や学生同士でやると盛り上がる。ふりがなをふってあるので小学生でも

できるけれど、土木を少しでも学んだり、仕事にしている方のほうが面白がつくのださっているようです」という。橋梁、ダム、鉄道、都市計画、河川、港湾、砂防等の技術者、建設コンサルタント業の始祖と、登場する人のジャンルは幅広く、誰でも知っているような偉人も、土木の専門家でないと知ら



徳川家康

PERSONAL DATA

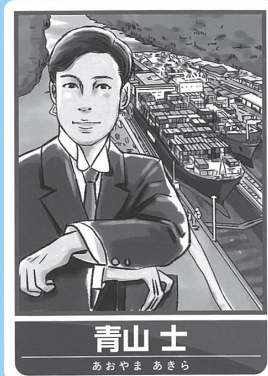
- 生没年：1543～1616年
- ゆかりの地：岡崎
- 主な功績：江戸開府
- 絵札背景：矢作橋、岡崎城

豆知識

天下普請は、徳川幕府が全国の諸大名に命じて行わせた土木工事のことである。城郭普請が有名であるが、道路整備や河川工事など都市基盤整備なども行った。神田上水の整備や埋立地の造成などにより、湿地帯の江戸を世界的な水辺都市に変えた。

徳川 家康

とくがわ いえやす



青山士

PERSONAL DATA

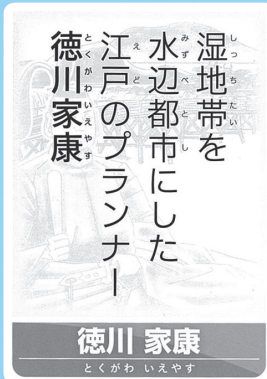
- 生没年：1878～1963年
- ゆかりの地：静岡、パナマ
- 主な功績：パナマ運河、荒川放水路、大河津分水路
- 絵札背景：パナマ運河

豆知識

明治11年生まれのため、十で士と名付けられた。高校時代に内村鑑三の影響を強く受けキリスト教徒になる。内村の同級生の廣井勇の元で学び、民衆のために尽くす土木の道を進む。パナマ運河工事には唯一の日本人として、測量のボール持ちから始まり、副技師長にまで異例の早さで昇進した。

青山 士

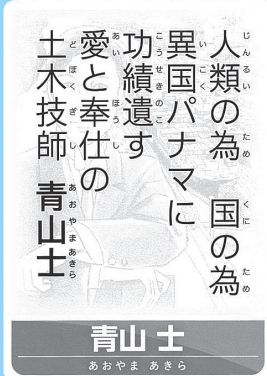
あおやま あきら



湿地帯を
水辺都市にした
江戸のプランナー
徳川家康

徳川 家康

とくがわ いえやす



人類の為に
異国パナマに
功績を遺す
愛と奉仕の
土木技師 青山士

青山 士

あおやま あきら

かるたは、絵札（取り札）の表面にはイラストが、裏面には概略が記載されており、文字札（読み札）とともに、その人物について学ぶことができる。上段は江戸幕府を開いた徳川家康、下段は明治期の土木技術者・青山士の絵札と文字札



「土木偉人かるた」

公益社団法人土木学会 発行

お問い合わせ先：03-3355-3445（土木学会出版事業課）

三馨氏が、二〇一七年一月から、かるたに登場する土木偉人を、毎号一人、見開きで紹介する「覚えよう！土木偉人」の連載を企画し、現在も連載中である。

また、土木偉人かるたは、土木学会で昨年開催している七月の「オープンキャンパス土木学会」で展示したり、今後さまざまな子どもや家族向けイベントでも紹介していく。八月末には札幌・北海道大学で開催される土木学会の全国大会でのプレゼンテーションも企画している。

「一般の人たちに土木をもっと知ってもらいたい」というのが土木学会・土木広報センターのスタンス。かるたという遊びからしばらく遠ざかっていた人も、大人も子どもも、土木業界人も楽しめる、ほどよい教材感とマニアック度で、一度遊んでみると、このかるたの存在を誰かに教えたいことになるだろう。

PICKUP! DOBOKU×カルチャー 現在都内で開催中のイベントを紹介します!



下水道施設親子見学ツアー

今しか見るのでない下水道工事現場をはじめ、水再生センターといった下水道施設の見学や、きれいになった隅田川を水上バスから体感して、楽しみながら下水道の役割や水環境の大切さを学ぶことができます。親子見学ツアーです。参加費は無料。楽しみながら下水道事業への理解を深めましょう。

開催期間：平成30年8月18日(土曜日) ※雨天決行

開催時間：9:00(東京都庁都民広場集合)～16:00(水上バス下船地「浅草(二天門)」解散)

募集人数：小学生とその保護者(都内在住) ※抽選で60名

申込方法：往復はがきでの申し込みとなります。詳しくは下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.gesuido-adventure.jp/tour/>

申込締切：8月18日(土)開催 … 7月20日(金)必着

お問合せ：TEL 03-3547-3400 (みんなの下水道サポートセンター)